

2026

No. 57

E-mail : info@wedchiku.com
HP : https://wedchiku.com/

Peach

和田地区まちづくり
推進委員会だより

編集・発行
和田地区まちづくり推進委員会
事務局:和田まちづくりセンター
〒697-0424
浜田市旭町和田1284
TEL:0855-45-1918

旭の二十歳を祝う会



1月3日(土)に、丸原センターで「旭の二十歳を祝う会」が開催され、12名が参加されました。和田地区では、阿瀬川獅友さんと岡本陽菜さんがこの日を迎えられました。(おふたりのメッセージを頂きましたので、次ページをぜひご覧ください♪) 地域の方からのメッセージや保護者の手作りの飾りが飾られた会場では、お祝いムービーや晴れ着に身をつつんだ参加者がそれぞれの決意などを発表されました。その成長された姿に、来場者は顔をほころばせておられ、心温まる会となりました。

Contents

- 旭の二十歳を祝う会 わの市in旭ふるさとまつり 他
- 健康ウォーキング 年忘れ交流会 他
- 課題解決実行部隊活動について
- まちセン事業 自主防災会 他
- 和田駐在所からのお知らせ、行事予定



手をつなごう、
和田の郷。



祝

旭の二十歳を祝う会

1/3



会の締めには、実行委員の岡本真人さんより四国あたりの伝統で長久を祈るとされている「あげしお」の掛け声に合わせて全員で両手を挙げ会場は盛り上がりました。それぞれの目指す夢に向かって歩まれていること、地域みんな応援しています！＼(^o^)/

阿瀬川獅友さん

地域の皆さんには、幼い頃から多くの場面で支えていただき、心から感謝しています。旭で過ごした日々や、学内外で活動・交流の一つ一つが、今の自分の考え方や行動の土台になっています。そうした経験に背中を押され、現在は松江高専で情報工学を学んでいます。これからは、学んだ技術を活かせる仕事を目指し、様々なことに挑戦していきたいです。そして将来、形は違っても、育ててくれた故郷に恩返しができるよう、少しずつ成長していきたいと思っています。



岡本陽菜さん

旭で生まれ育ち、なんと20年が経ちました。現在私は大学で言語の勉強をしています。私は大学生になってから旅行に行く機会も増えました。様々な土地を見た上で旭町をみると、本当に旭って何も無い！雪は沢山降り、バスの本数は少ないし、お店も少ない。しかし、旭に帰ってくる度に安心感で心が満たされます。こんな気持ちになるのは、ふるさとである旭だけなのです。しかも町の成人式もあってムービーを作って祝ってもらえる環境なんてそうありません。この環境に巡り会えたことに感謝をし、これからも邁進していきます。暖かい眼差しで見守っていただきありがとうございました。



和田の産直「わの市」出店！ 11/9



旭ふる里まつり2025に、和田地区の生産者を中心とした「わの市」を出店されました。地域で育てられた多くの新鮮な野菜や、耕作放棄地対策として栽培された、エゴマをつかったエゴマ油や同ニンニクをつかったニンニク醤油などが販売され、多くの方が買いに来られ賑わっていました。

健康づくりのきっかけに 10/21



健康相談コーナーも♪



音楽に合わせて、みんなでシャトルラン(64歳以下の種目)

今年度は、大人15人子ども2人が参加されました。体力・運動能力の測定や体組成計をつかった体内バランスをチェックし、自身の今の体力把握と今後の健康づくりについて考えておられました。種目は、年齢区分に応じた内容となっていました。

11/24

秋空のウォーキングin三景園(三原市)



参加者27名は、約3キロのコースを秋の紅葉を写真を撮りながらウォーキングされました。昼食は、名物“三原やっさたこ”のたこづくし料理を召し上がられました。また、八天堂や道の駅の酒蔵のん太でショッピングも楽しられました♪



今年もかわいい 和田地区オリジナル イルミネーション 始まりました！



写真はごく一部なので
ぜひ見に来て下さい♪

点灯期間 17:00~20:00
1月末まで

年忘れ交流会 12/21

みんなで
かんぱ〜い!



今年、子供7名、大人42名（うち県大生7名）の参加がありました。

佐々岡健次さんの和田のばけばけ話や耕作放棄地対策として栽培されているニンニクをつかった県大生との料理対決、ビンゴ大会が行われました。また、食改と親子の鮎飯のおにぎり作りもあり、飲んで♪食べて♪話して♪みなさん楽しまれました。

食改と親子で鮎飯おにぎり作り



ビンゴ大会で賞品get♪



県大生のニンニク料理対決!
(P.6のニンニクフェスタ参照)



佐々岡さんのばけばけ話

農用地保全

今年のエゴマ栽培終了

6月21日、エゴマ部会の皆さんによって50アールの圃場で、約15,000粒の「エゴマ」の種を播種し、7月中旬から順次各圃場において定植が行われました。

今年産は、昨年の熊本県菊池の視察を参考にした栽培方法を試みてみましたが、今夏の異常な高温により、定植時期を遅くしたことが災いし、活着不良による枯死が各圃場において発生し、収穫量は過去最低の60kgにとどまりました。

定植時期を遅らせて茎の徒長を抑制することで、摘心の作業を少なくすることを目的とした新たな挑戦でしたが、長引く高温には太刀打ちできませんでした。この経験を糧に、次年産はまた新たな挑戦を試みたいと思います。



令和7年度産のエゴマオイルです！

農用地保全

ニンニク定植終了



10月からスタートした今年産の定植。地域の皆さんの力も借りて、昨年の22,000個からほぼ倍増の40,000個を、約1か月を要して植え付けが終了しました。

これから長い冬を越して約7か月後、真っ白な「ホワイト6片」を皆様にお届けすることができるよう、精魂込めて管理していきたいと思います。

また、12月に開催された「第2回年忘れ交流会」では、島根県立大生企画による和田産のニンニクを使った美味しいレシピを考えようと題した「ニンニクフェスタ」が開催され、ニンニクをメインにニンニク醤油やシイタケなど、和田産の食材を用いた一品が提供され、和田のニンニクをPRするのにはとてもいい機会となりました。



ニンニクフェスタ

小さな地域の大きな産地化に
“えうご期待…”



空き家の利活用

～お問合せ先～
和田まちづくりセンター
(0855)45-1918



空き家の利活用ー 課題解決特別事業 店舗の名前が決まりました！



「よりみち西広」

慣れ親しんだ酒屋「西広」を残し、和田地区内の方が誰でも気軽にちょっと「休憩」や「交流」の場所に。との想いで課題解決実行部隊（タスクフォース）の有志で決めました。



岩谷住建さん、アサヒさんのご協力の元、作業は主に有志行い、12/23「よりみち西広」で「内覧会」が行われました。



地域の方からいただいた古い書籍等を並べています。



バリスタコーヒー 100円！



カウンターからは重富の美しい景色が見られます。

オープンに向けて、地区の方々からご意見をいただくために「内覧会」が行われ、早速、朝からお越しくださり、コーヒーを飲みながら、ご意見やアンケートをいただきました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました<(_)>

よりみち西広

2 / 7

(土)

OPEN 決定！

飲食持ち込み（サワレンで購入）OKで、懐かしの展示、懐かしの凶書、情報発信コーナー、まちセンターなどもあります。また、運営費の一部に充当させていただくため、コーヒーを1杯100円でご提供していますので、ご理解とご協力をお願いします。ぜひ、ご利用下さい！



ここでの楽しい会話の中から出てきたアイディアなどを和田地区で楽しむことにつなげていければいいですね！

空き家と墓地の「除草・管理」依頼をいただきました。

重富の「空き家」の所有者様より、実家とお墓の管理・除草の依頼をいただき、12月に1回目の作業を行いました。作業終了後には、報告書と写真を郵送しました。



天津谷のお家が「空き家バンク」に登録されました。

新たに空き家バンクに登録されたお家です。今回は、見学時に「和田のこと」を見学者さんにお伝えできるよう、浜田市に配慮いただきました。



ご依頼を受ける前に、ご事情に添ってご提案をさせていただきますので、まずはご相談ください。「和田まちづくりセンター」までご連絡ください。

和田まちづくりセンター事業

ジャズ喫茶

11/29

おとぎの国の主催で、初めてのジャズ喫茶が開かれました！参加者は、各自が聞きたいレコードやCDを持参し、本格的な音響設備で臨場感溢れるジャズを楽しまれていました。



プロ仕様の本格的な音響設備



照明も暗めで、雰囲気も楽しまれていました

寄せ植え教室と防犯教室

12/13



和田駐在所の大西巡査部長より特殊詐欺の国際電話についてのお話があり、警察で固定電話に国際電話がかからないようにする手続きができる説明もされました。早速、手続きをされる方もおられました。



和田駐在所 大西巡査部長



完成作品

石橋農園の岩藤美帆さんを講師に、寄せ植え教室が行われました。参加者10名は、用意された7種類の花からそれぞれ好みの色味を選び植えつけられました。最後はお正月飾りを選んで仕上げていました。



植える場所のバランスを確認♪

和田自治会



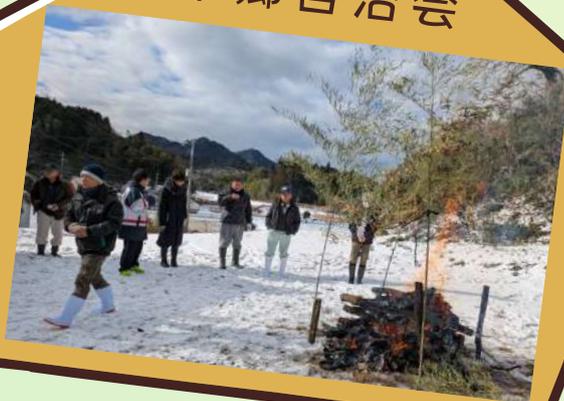
重富自治会



各自治会総会 & 常会 & とんど

各自治会で、常会や新年度の総会が行われました。また、とんども行われ、新たな一年の無病息災や家内安全、五穀豊穡を願われました。

本郷自治会



戸川自治会



地域のニュース

島根県立大学の大屋孝三さんが、はまだ協働学舎ファンタスを通して地域の方へ取材をされました。

島根県立大学生が

和田地区の農家さんにインタビューをしました！

はまだ協働学舎ファンタスに所属する島根県立大学2回生の大屋孝三くんが、和田で農業に携わる5名の農家さんにインタビューを行いました。日々の農作業の工夫や仕事へのやりがい、地域との関わり、これからの農業への思いなど、普段なかなか知ることのできない「農家さんの声」を、学生ならではの視点で伺っています。これまでインスタグラムで発信してきた内容をもとに、本誌では5名分のインタビューを簡潔にまとめてご紹介します。



旭町を
ニンニクの町へ

寺本 孝之 さん

昨年にニンニク栽培事業化のために(株)芽組を設立しました。従来の仕事を退職し、旭町をニンニクの町へと栽培に専念しました。これからは、知名度の向上はもちろんのこと、収穫と同時に生ニンニクを販売したり、イベント等もやったりしてみたいです。



集落の
田んぼを
荒らしたくない

岩谷 淳志 さん

「集落の田んぼを荒らしたくない」という思いから、およそ集落の七割の田畑を管理しています。ここ数年の異常気象や草刈り、水路の管理は大変ですが、地域の方から頼りにされていると感じます。また、農機具センターに勤めていた経験も活かせるため、やりがいは多々感じます。



農業も
ビジネス

山本治 さん

住まいは広島にあり、旭町では“通い農業”という形で農業をしながら2拠点生活をしています。農業も「ビジネス」だと思っているので、コストと売り上げは大切にしています。また、今も少し実施していますが、ドローン等を使った「スマート農業」にさらにチャレンジしていきたいです。



百姓は
毎年一年生

森井和朝 さん

水稲や原木シイタケを栽培しながら、狩猟や神楽も行っています。ご近所の方が高齢となったため、44歳で農協を退職し、近隣の田んぼも管理するようになりました。母親から言われた、「百姓は毎年が一年生」という言葉を大切に、1年1年試行錯誤しながら農業をしています。



自然を
大切に

吉川秀喜 さん

自然や虫が大好きなので、自然や生態系を大切にしながら農業を行っています。農業の魅力は、「生きていくために必要なものを作っている」という感覚を味わえることです。とてもつらい仕事ではありますが、農業全般が楽しいですし、それぞれの作業が終わった後の達成感もとても良いです。

(インタビューをした大屋くんの感想)

今回5名の方にお話を聞かせていただき、日常生活の中では聞くことのできない農家さんの苦勞や熱い想いなどを聞くことができ、農家さんの存在が私たち消費者の暮らしをどれほど支えてくれているのかを改めて実感することができました。後継者不足や異常気象などの課題は、もちろん簡単に解決することはできませんが、少しでも農家さんへの支えにできる事はないかなと常々思いました。お話を聞かせていただいた5名の方々、ありがとうございました。

【はまだ協働学舎ファンタスとは？】

幼稚園保育園から大学までが立地する浜田市を舞台に、大学生を中心とした若者と地域をつなぎ、あらゆる世代が協働することによって起業やまちおこしなど、様々なコトに挑戦しやすい地域を目指す中間支援組織です。

記事の詳細については
Instagramをご見下さい



最優秀賞発表!

2025年度 第3回 和田地区フォトコンテスト

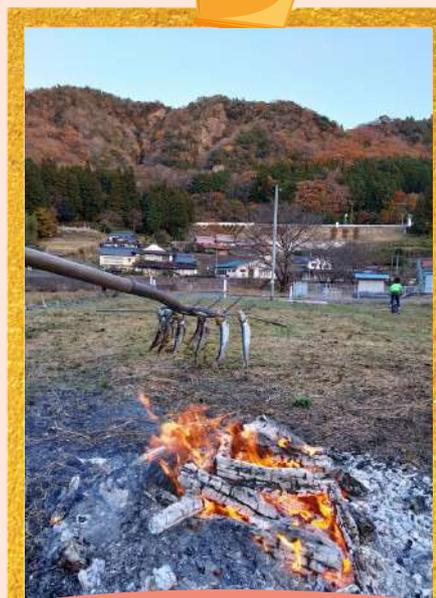
今回、ご応募下さいました皆様、ありがとうございました。厳正な選考の結果、右の作品が選ばれました。おめでとうございます!! 賞品として重富の“ニンニク醤油”が贈られました♪



第4回フォトコンテストのお知らせ
 募集期間 12月1日~2月28日
 応募方法 ・左下QRコードまたはデータを持参
 ・info@wadachiku.com(メール)

※詳細は、和田まちづくりセンターや
 左の二次元コードをご覧ください!
 ご応募をお待ちしております♪

←申込みフォーム



「ワイルドだろ~」
 ペンネーム 焚き火おじさん

エピソード

休日の河川敷で、集落の父子たちが草刈りした草を集めて焚き火をしていました。ビールと干物を持って途中参戦。焼く網がないので、父は草集めのスキに吊るして炙り焼き! うまいっ!

今回ご応募いただいた他の作品 ※上段: 作品名 下段: ペンネーム



朝霧
 鷹の爪団

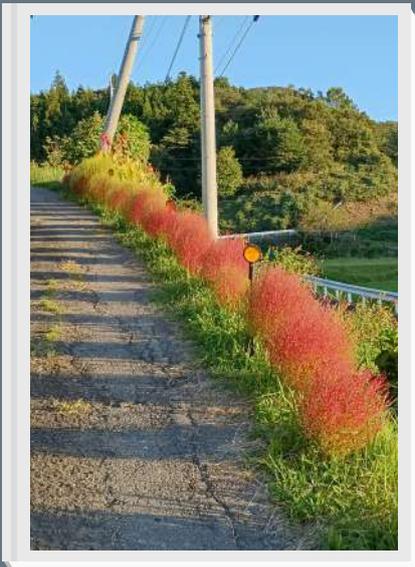
エピソード
 昨夜までの雨が上がって今
 日は晴れそうです。



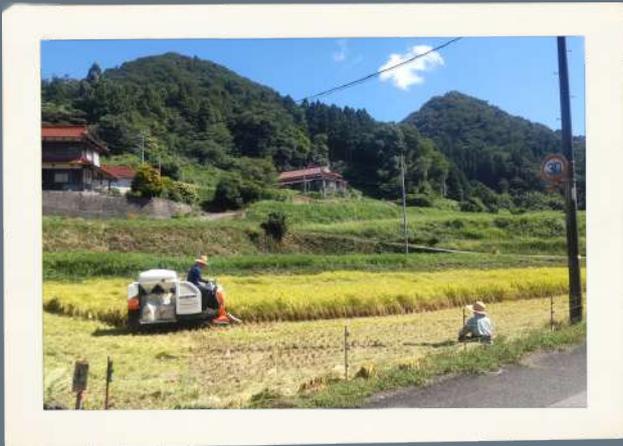
アケビ
 こだわり



● あんた…だれ? ●
● まさぴよん ●



● コキア ●
● こだわり ●



● 稲刈り ●
● 鷹の爪団 ●

● エピソード ●
● 稲刈り日和 ●



● 朝焼けの防六 ●
● こだわり ●



● なんとキレイなの～ ●
● 焚き火おじさん ●

● エピソード ●
● 柚子を取りに行った帰りに、紅葉を見にちょっと寄り道。下を覗くと川も透き通ってて、思わず「こがあにキレイだったかの～」とパシャリ。 ●





まちづくりから ちょっとおしらせ

和田地区神楽響演大会 開催予定!

3月15日(日)に、今年も和田地区石見神楽響演大会を開催します。地元有志の方も出店予定です♪
詳しいことについては、2月に配布予定のチラシをご覧ください。

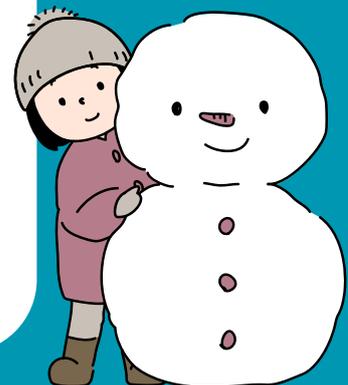
介護予防教室

「楽しく笑って介護予防!」

2月26日(木)10時から介護予防教室が行われます。いつまでも元気に楽しく過ごしていくために、ぜひ参加してみませんか♪
詳しいことについては、配布チラシをご覧ください。

まちづくり委員会の 総会について

4月19日(日)に、令和8年度の通常総会が行われます。和田地区の将来がよりよいものになるようなまちづくりの活動をみんなと一緒に考えていきます。ぜひご参加下さい。





自主防災会コーナー



「逃げ地図」研修会（昨年12月6日）ありました。

※右の地図はイメージです。



ハザードマップを利用しながら、避難所（この地図では和田まちづくりセンター）まで、どのようなルートでどれくらいの時間をかけて避難できるかを確認めます。所要時間で色分け（この地図では、短時間で到着できる順に緑→黄緑→黄色→オレンジ→赤→紫）してあり、対象者の年齢や状況（高齢者か若者か、車いす・杖等）で、移動範囲が変わってきます。

※以前紹介した「マイタイムライン」と同様ですが、作成するのが目的ではなく、作成するにあたって住民が話し合いをして、危険個所や近所同士の協力、声掛けなどを意識して、「自分たちが（災害時だけでなく災害が起こる前に）何をすべきか」を考えることが大切です。



1月6日（火）、島根県下で震度5強を記録する地震が発生。

地震は、予期せぬときに起きますが、日本全国どこでも起き得ると考えると、真っ先に対策を考えないといけない災害と言えます。このたびの経験を生かすのであれば、「家具の固定」や「持ち出し用グッズ」など、今まで話題にしたことに加え、「スマートフォンの活用」があります。（大災害では、通信不能になる可能性が大きいですが、それも踏まえてスマートフォンのよさをどう活用するかについて考えます。）



①オフライン（インターネット不通）でも使える地図アプリ

例：「Google マップのオフラインマップ機能（GPS機能はオフラインでも使えるので、現在地がわかる）」「Yahoo! MAPの防災モード」（「土砂災害」「洪水」「津波」「地震」の4種類のハザードマップ）その他には「LINE安否確認機能」（家族間の連絡等）「災害用伝言版サービス（各携帯電話会社）」

②大事なこと（災害時にどうすべきか・持ち出し品等）をメモや写真にとって保存

③持っているだけでも位置情報で現在位置がわかる（家の下敷きや行方不明時）

※「専門用語」や「操作が難しい」ということがあります。

いつでも まちづくりセンターにお問い合わせください。(0855-45-1918)



和田駐在所からのお知らせ



警察官を騙るオレオレ詐欺に注意!

- ⚠ 警察や検察が捜査等の名目でお金を要求することはありません。
- ⚠ 警察がSNSで連絡をとることはありません。

「あなたが捜査対象となっている。」等と電話があった場合は、一旦電話を切り、最寄りの警察署に相談してください。



浜田警察署
22-0110

行事予定

2月

- 20日 ラブック号 (14:50~15:20)
- 〃 和田まちセン運営推進委員会
- 26日 介護予防教室

3月

- 7日 旭中学校卒業式
- 10日 ラブック号 (14:50~15:20)
- 15日 和田地区石見神楽響演大会
- 19日 旭小学校卒業式

4月

- 5日 各地区一斉清掃 (缶ひろい)
- 9日 旭小学校入学式・旭中学校入学式
- 19日 まちづくり定期総会
- 未定 ラブック号

※行事は、変更になる場合があります。

てごの和实施状況

(作業内容)

令和7年10月~12月分
・草刈り 2件

依頼合計件数 2件

依頼のご相談は、和田まちづくりセンターまで、ご連絡下さい♪ (TEL45-1918)

和田地区人口

世帯数	人口			高齢化率
	男	女	計	
213	204	216	420	55.24%

12月末現在